

「口腔外科手術の術後疼痛管理において自己調節鎮痛（PCA）を使用した症例の後ろ向き調査」へご協力をお願い

- 平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで岡山大学病院において口腔外科の手術後に自己調節鎮痛（PCA）を使用された方へ -

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	岡山大学病院”
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	研究科長 谷本 光音 ”
	岡山大学病院	病院長 槇野 博史 ”
研究責任者	岡山大学病院 歯科麻酔科	講師 樋口 仁

1. 研究の概要（研究の目的及び意義）

手術の後は痛みを伴います。そのため手術の後には鎮痛薬の投与を行いますが、その方法として、患者さま御自身のタイミングで鎮痛薬を投与することが出来る自己調節鎮痛（PCA）という方法があります。これはあらかじめ鎮痛薬がセットされた特別な機械を使い、痛みが生じた場合、患者さまが自らの判断で薬剤投与のスイッチを押すことで少量の鎮痛薬が投与されるものです。この度、これまで自己調節鎮痛により鎮痛を行った患者さまの痛みの程度および副作用をカルテを基に調査し、さらに質の高い疼痛管理を目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成 26 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで岡山大学病院において口腔外科の手術後に自己調節鎮痛（PCA）を使用された方 20 症例程度を対象とします。

2) 研究期間

平成 27 年 12 月 11 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

3) 研究方法

口腔外科の手術を受けた後に、自己調節が出来る鎮痛装置を使用した症例についてカルテをもとに調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録等から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの

個人情報とは削除し、拒否機会期限終了後、連結不可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。患者の背景（性別、年齢、身長、体重、既往歴）、適応術式（手術名、手術時間）、PCA の初期設定、PCA 設定の変更（変更した場合はその内容）、PCA 使用期間

5) 情報の保存及び廃棄の方法

本研究に使用した情報は研究終了後 5 年間保存させていただきます。保存期間終了後、電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 情報の保護

本研究に使用する情報は岡山大学歯科麻酔科医局の施錠可能な棚内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】 連結不可能匿名化されている為。 この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。**また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成 28 年 3 月 31 日までに下記の連絡先までお申出ください。**この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科麻酔科 講師 樋口 仁

電話：086-235-6813（平日：8 時 40 分～17 時 15 分）”